

問 住民の願いが実現できるか

瀬尾征爾議員



答 期待に応えたい

Q 住民の行政に対する要望の中で①カウンターに行けば即座に「声掛け」が無く「ジロツ」と見られていやな気分になる。職員の対応に、基本である「挨拶」「笑顔」「親切」が欠けている。どう指導しているのか。
A 町長 「挨拶」「笑顔」「親切」は人間だけが持っている能力で、私が行政スタイルとしている「迅速」「确实」「誠実」のうち「确实」に入る。幹部会などで頻

Q 繁に指導しているが徹底していないようなのでさらに徹底する。
A 町長 製品市場は売り方であるから当然である。まず、役場の職員が、えりをただし波及効果を上げていく。

Q 職員の名札が住民目線で見えず、さっぱりわからないと聞く。胸に着用する方がよりましではないか。
A 町長 賛否両論あるが見えにくいのは確かであり、検討してみたい。

Q 粗大ゴミの処理が遠くて場所も解らず、多くの高齢者が困っている。
A 町長 自治振興会事業に組み込み、呼び水として助成金を出す制度の導入は、

Q 効果が5年間で32億円余りで、その主なものでは集中と選択による投資的経費である。人件費や物件費、補助金などの合理化で約20億円抑制できた。
A 町長 第二次計画は23・27年度の5年間で、今年度策定する。

問 星の里井関の販売条件緩和は

藤田晃己議員



答 大幅な見直しはしない

Q 星の里いせきの販売状況と今後の販売促進対策は。
A 町長 9月20日現在契約件数は27、予約済み2件、販売状況を月に一回程度分析しているが「購入後3年以内の建築条件は厳しい。」「町内業者で建築する条件の区画で6カ月以内建築は難しい。」「別荘目的での販売はないか」との声もある。平成22年から24年(3年間)の販売条件の大幅

Q 「6カ月以内建築」の変更は軽微な変更ではないか。
A 町長 変更は原則的に考えていないが、今後来客者の意向や購入者の傾向を把握し、販売促進のため、建築条件エリアの解除、期間の緩和などを含めて大幅な見直しは25年以降の実施としたい。

Q ケーブルテレビ設備後の情報伝達の方向性は。
A 町長 告知端末を使ったお知らせと広報とは内容が

Q 個別には申し上げれないがお任せ願いたい。
A 町長 低価格帯にするために区画の分割などを考えてみては。



いもっこ村の大根畑

問 木質系バイオマスの実施時期は

村上克朗議員



答 足踏み状態である

Q 地域資源を生かした地域活性化につながる工コな町づくりを目指した新エネルギー導入計画を策定。
A 町長 21年度にスコラ高原「帝釈の湯」で現状の重油ボイラとチップボイラとペレットボイラの比較22年度に検討会を設置し具体化に向け詳細検討、23年度には「帝釈の湯」へチップボイラを導入し燃料チップの調達先を選定、町民参加型の林地残材収集や運搬システムの

Q 事業実施における課題と対策は初期投資及びチップ燃料価格の低減であるがその方法は。
A 町長 地域産業として捉

Q バイオマス燃料は事業採算性が確保できる価格と安定的な供給が重要では。
A 町長 産業としては、コストを考えると難しいが森林業は地域の財産である。

Q クリーンセンター神石施設管理経費8千6百万円の内、RDF処理委託費に800万円を支払っている。
A 町長 庄原市が補助事業でバイオマス燃料を製造していたが民間企業が倒産したので、市が補助事業費の返還を行い苦慮して



油木小学校運動会

問 地域活動は公共放送で周知を

木野山孝志議員



答 庁内委員会を設置し基準を検討する

Q まちおこし目的の事業の周知は公共放送で行うべきでは。
A 町長 政治活動、宗教活動、営利活動の公共放送基準を設ける。
A 町長 まちづくり推進課長、副町長、担当課長、関係課長などで庁内委員会を設立し検討する。

Q 「知つくネット」は大いに利用して欲しい。
A 町長 イノシシ被害の復旧対策が必要では。

Q 「自己肯定感、将来の夢目標を持つているか」にも課題がある。
A 町長 将来に夢を持ち意欲のある子どもに育つようお願いしたい。

Q 本年度は東日本大震災のため全国学力学習状況調査は見送られたが、国から配布された問題冊子によって全校で実施し、今後へ繋ぎたい。



ピラミッド完成 (三和小学校運動会)